

デジカメ型のコンパクトな顕微鏡

インテル技研(有)(TEL048-778-2778)はデジタルカメラ感覚で、どこでも使えるコンパクトな顕微鏡「デジタル顕微鏡 MV108」を発売した。小売価格29,800円(税別)、観察台付37,000円(税別)。

食品の原材料や製品に混入した不純物や異物、カビ、乾燥具合などを、素早くその場で7~108倍に拡大して確認し画像を保存。63枚の画像を顕微鏡に保存再生。さらに、付属のUSBケーブルでパソコンに接続し直接大画面で見ても保存もできる。

本体は横12×縦5.6×厚さ2.5cm(重量70g)と軽量・コンパクトでストラップ付。左側の突出した部分に特殊レンズがあり、ここに被写体を含ませディスプレイで観察し保存ボタンで保存する。一対十のダイヤルで倍率7~108まで調節できる。レンズの周囲には明るさを調節できるLEDが4個付いている。食品の製造・販売現場での便利な品質管理用具としての需要に期待している。



デジタル顕微鏡(上が表、下が裏)

ALL JAPAN 壮行会開催される

昨年12月4日在日フランス大使公邸にて、1月24日から28日にフランス・リヨンで開催されたシラ国際食産業見本市内の4つの世界コンクールに出場する代表選手と事務局で構成される「食のオリンピック団」、ALL JAPAN 壮行会が行われた。

冒頭、フィリップ・フォール在日フランス大使より激励の言葉があり、続いて各コンクールの代表選手、団長らよりコンクール・代表の紹介が行われた。まずは、クーブ・デュ・モンド・ドゥ・ラ・パティスリー団長、柳シェフと日本代表シェフ、歴代日本代表のシェフ。そしてカゼウス・アワード実行委員榎田氏と日本代表。続いてモンディアル・デュ・パンの大使、藤森シェフと日本代表シェフ、アシスタント。最後に日本ボキューズ・ドール委員会の委員長、平松宏之シェフと日本代表シェフ、アシスタント、日本ボキューズ・ドールアカデミーのシェフたちが壇上にて、それぞれ精悍な面持ちでリヨンでの本戦への意気込みを語った。

また、シラ日本事務局、壮行会主催者のエス・ピー・エイ(株)社長のピエール・ボードリ氏より見本市について説明。見本市ディレクターであり、リヨン市副市長のマリー=オディル・フォンドゥール氏からのメッセージと、ポール・ボキューズ氏からのビデオメッセージも紹介されるなど、国外からも日本選手の活躍を応援する声が多く寄せられた。続いて、食



食のオリンピック団代表選手たち

のオリンピック団2009年の代表として(株)ひらまつの平松宏之シェフが挨拶、全てのコンクールで表彰台に上がるための最善の努力を約束した。

Pro Wein、デュッセルドルフで開催

ProWein(国際ワイン・アルコール飲料フェア、<http://www.prowein.de>)が3月29日から31日まで、ドイツ・デュッセルドルフで開催される。

45カ国もの広範囲な国から3,000社を超えるワイン・メーカー、生産者が自慢のワイン、アルコールを専門業者やバイヤー、インポーター、ホテル・レストラン業者に発表する。1つの見本市でこれだけの産地が集まる国際性の高さが特徴。会期中にはオーガニックワインのコンテストも開催される。

問い合わせ先:(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン03-5210-9951

【記事訂正・お詫び】本誌1月30日号の「国内短信」欄の中でカリフォルニア・アーモンド協会の記事、見出しが間違っておりました。正しくは「1月23日をアーモンドの日と制定」です。お詫びして、訂正いたします。